

令和7年度第2回食の安心・安全審議会における意見及び京都府の対応について

協議事項 第7次京都府食の安心・安全行動計画に基づく令和8年度施策の目標について（参考：令和7年度施策の実績見込）
（資料1-1、1-2）

No.	項目	御意見の要旨	回答者	審議会時の府の回答	御意見に対する担当課の対応方針	担当課
1	③養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザ侵入監視のためのウイルス学的検査	数値目標は、鳥インフルエンザの発生を防止するための対策に係る指標とすべきではないでしょうか。	小瀬農林水産部長	どのような監視が必要で、そのためにどのような目標設定が必要かということについては、改めて検討させていただきます、御報告させていただきます。	数値目標は、侵入監視に不可欠な現状のウイルス学的検査としますが、発生防止の対策状況として衛生管理基準の遵守率を追記します。	畜産課
2	⑥農薬販売店への立入調査	数値目標は、調査件数ではなく、適正率とすべきではないでしょうか。	—	—	数値目標は、現状の調査件数としますが、実績報告時に違反の有無等の調査結果について、引き続き報告することとします。	農産課
3	⑦飼料等製造業者、販売業者への立入調査		—	—	数値目標は、現状の立入調査数としますが、適正率が分かるように追記します。	畜産課
4	②学生等によるきょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成	目標数値はヤングサポーターの延登録者数ではなく、活動した人数の方が良いのではないのでしょうか。目標数値が登録者数である場合、具体的な活動内容が把握しにくいと考えます。	—	—	数値目標は、現状の延登録者数としますが、具体的な活動内容を把握していただけるよう、取組実績を個票に追記します。	農政課

報告事項(1) 京都府の農林水産業に係る主な取組について（資料2）

No.	項目	御意見の要旨	回答者	審議会時の府の回答	御意見に対する担当課の対応方針	担当課
1	ア 京都府で発生した鳥インフルエンザについて	発生した原因を突き詰めなければ、今後も発生することになる。	小瀬農林水産部長	様々な防疫措置のプロセスについては、この農場ではどこまでできているかについて現場でしっかりと把握していますので、それをエビデンスとして集計し、皆様に御報告できるように進めて参ります。	発生した農場は平成29年に建設された新しいウインドレス鶏舎で、発生直後に行われた国の専門家による疫学調査でも発生に直接繋がる原因は、特定されませんが、全国的に大規模のウインドレス鶏舎で多発する傾向があることから、入気口へのフィルターや消毒装置の設置等ウインドレス鶏舎の感染リスクを少しでも低減する対策を実施していくこととします。	畜産課
2	イ 農作物の高温渇水対策について	米の価格が高騰している要因について、また、今後の見通しについて教えてください。	瀬戸谷農産課長 小瀬農林水産部長	米の価格は需要と供給のバランスで決まり、令和6、7年にかけては供給の方が少なかったため価格が上昇しましたが、今後は生産量が増えていることから、価格は一定落ち着いてくる見通しです。 確かに米の価格はかなり上がりましたが、農業者の方はこれまで非常に厳しい経営状況であったことは押さえておく必要があります。今後、国の適正価格の考え方を参考にしながら、京都府でも検討していきたいと考えております。	コメは私たちの主食であり、農業者が将来に渡り持続的に生産し、消費者に安定的に供給することは、食料の安全保障の観点から大変重要と考えております。 京都府としては、米と地域特産物の需要動向に応じた水田活用により、産地収益力を向上することが重要だと考えており、国の施策をフルに活用して、小規模経営体が多くを占める中山間地域の生産性を向上を図るとともに、高品質、環境配慮などによるブランド化を進め、安定した米価格を形成することで、持続可能な生産の確保に努めてまいりたい。	農産課